

2017 年度事業報告

<地方自治および地域問題に関する調査・研究事業>

(1) 「2017 年度民進党・府民クラブ京都府議会議員団事業検証会議」に参加

- ・昨年に引き続き、民進党・府民クラブ京都府議会議員団が取り組む「事業検証会議」に、参考人の派遣依頼がありました。
- ・については、京都自治総研の理事である、只友景士龍谷大学教授と櫻井純理立命館大学教授を、参考人として派遣しました。
- ・「検証会議」に先立ち、2017 年 9 月 4 日（月）に、岡本かずのり議員から検証事業の内容や進行方法について説明を受け、打ち合せをしました。
- ・当日は、6 事業を 2 班に分け、それぞれの事業ごとに、府職員から事業の取り組み状況や課題について説明を受けた後、担当の府議会議員や参考人から質問や意見を提出し、議論を深めました。
- ・最終的には、事業をさらにより良いものとするための意見がたくさん出され、実りのある「検証会議」になりました。
- ・また、検証会議の終了後、参加者全員で意見交換会を行いました。
- ・詳細は、以下の通りです。

日 時 2017 年 9 月 7 日（木）10：00～18：00

会 場 京都ガーデンホテル

第 1 班 班 長 平井齊己議員

班 員 北岡千はる議員、田中美貴子議員、堤淳太議員

参考人 櫻井純理教授 他京都府立大学学生 4 人

対象事業 商店街創生センター総合支援事業

次世代下宿「京都ソリデール」

高齢者と障がい者のための在宅医療事業

第 2 班 班 長 田中健志議員

班 員 松岡保議員、北川剛司議員、小原舞議員

参考人 只友景士教授 他京都府立大学学生 4 人

対象事業 いじめ防止対策推進事業

移住促進関連事業

府有施設の長寿化（道路、橋梁、河川）

(2) 「財政分析研究会 in 京田辺市職員労働組合」を開催

- ・2014 年度に、京都府内自治体の財政状況について現状と課題を明らかにするため、財政研究会を立ち上げ、近隣自治体との比較を目的とした分析ソフトを開発しました。
- ・この分析ソフトをもとに、岡本哲也専務理事が京田辺市の財政分析を行い、京田辺市職員労働組合と米澤修司京田辺市議会議員で、下記の通り検討しました。
- ・研究会には、助言者として、只友景士龍谷大学教授に参加していただきました。
- ・京田辺市の財政分析は、「2018 年度地方財政セミナー」で紹介し、参加者に分析資料を

配付しました。

- ・研究会の取り組みは、以下の通りです。

第1回 日時 2017年9月8日(金) 18:30～20:00

会場 京田辺市職書記局

テーマ 「指標でみる財政の全体像」岡本哲也

参加者 12人

第2回 日時 2017年9月26日(火) 17:45～19:30

会場 京田辺市職書記局

テーマ 「指標でみる財政の全体像<人件費を中心に>」岡本哲也

参加者 9人

(3) 「一般社団法人置賜自給圏推進機構」を視察・調査

- ・2016年度は、宮城県大崎市鳴子において、都市との交流に取り組む「さとのわ」を視察・調査しましたが、今年度は、2016年開催の「食とみどり、水を守る全国集会」で紹介された、住民が主体となって地域の自立に取り組む、山形県「一般社団法人置賜自給圏推進機構」を視察・調査しました。

- ・「置賜自給圏推進機構」は、山形県置賜3市5町(米沢市、南陽市、長井市、高島町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町)を対象に、①地産地消に基づく地域自給と圏内流通の推進、②自然と共生する安全・安心の農と食の構築、③教育の現場での実践、④医療費削減の世界モデルへの挑戦という4つの柱を立て、企業誘致や国の補助金による地域活性化とは異なる「もう一つの地方再生」をめざし、個人、NPO、協同組合、企業、任意団体等が設立した団体です。

- ・視察には、岡本哲也京都自治総研専務理事、櫻井純理立命館大学教授、黒岩洋子京都自治総研事務局長が参加しました。

- ・視察・調査の結果は、会報132号(2018年5月31日発行)で報告しました。

- ・視察・調査の内容は、以下の通りです。

日程 2018年2月28日(水)～3月2日(金)

行程 <2月28日(水)>

① 置賜自給圏推進機構についてレクチャー

解説者 井上肇専務理事・佐藤由美子常務理事・江口忠博常務理事

会場 NPO法人「結いのき」

<3月1日(木)>

① 高島町の有機農業の歩みと現状についてのレクチャーおよび「蕎麦打ち体験」

解説者 渡部務代表理事・秋津ミチ子常務理事

会場 高島町「ゆうきの里さんさん」

② 飯豊町役場で、後藤幸平町長から取り組みについてレクチャーを受けた後、「木質バイオマス製造施設」および「雪室低温貯蔵施設」を見学

解説者 後藤幸平飯豊町長(常務理事)

鈴木良則(中津川バイオマス㈱代表取締役)

伊藤清一（雪室低温貯蔵施設管理組合組合長）

③ 自給圏推進機構関係者と意見交換

自給圏推進機構の参加者

後藤幸平常務理事（飯豊町長）・井上肇専務理事・江口忠博常務理事
事・渡部務代表理事

< 3月2日（金） >

① 長井市「レインボープラン」のレクチャー

なお、堆肥工場施設の見学は、暴風雪のため中止となりました。

解説者 江口忠博常務理事

会 場 長井市市民文化会館

< 地方自治および地域問題に関する学習・交流事業 >

(1) 「総会記念講演会」の開催

- ・2017年度総会の終了後、記念講演会を下記の通り開催しました。
- ・講演の内容については、会報130号（2017年9月10日発行）に収録しました。

日 時 2017年6月6日（火）18：30～20：00

会 場 京都府総合福祉会館「ハートピア京都」

テーマ 「“地方創生”ブームの危うさと今後の課題」

講 師 真山達志（同志社大学政策学部教授）

参加者 65人

(2) 「自治総研セミナー」へ参加

- ・(財)地方自治総合研究所が主宰する「第32回自治総研セミナー」が、下記の通り開催されました。
- ・京都自治総研からは、岡本哲也専務理事が参加しました。
- ・また、講演会終了後の懇親会に参加し、他団体との交流を深めました。

日 時 2017年11月25日（土） 10：00～16：00

会 場 田町交通ビル

テーマ 自治の行方 ―「連携・補完」を問う

① 垂直的な「連携・補完」を考える

講 師 市川喜崇（同志社大学法学部教授）

山崎幹根（北海道大学大学院法学研究科教授）

② 水平的な「連携・補完」を考える

講 師 大杉 覚（首都大学法学部教授）

西田奈保子（福島大学行政政策学類准教授）

討論者 今井照（地方自治総合研究所主任研究員）

問題提起 新垣二郎（地方自治総合研究所研究員）

(3) 「特別講演会」の開催

- ・今年度は、総会記念講演会と地方財政セミナーの中間として、新たな講演会を、下記の通り開催しました。

- ・中村武生講師は、1200年の間、都であり続けた京都は、NHK大河ドラマの主演と関わりが深いため、その歴史遺産を残すために、ゆかりの地に石碑を建立する活動をしています。大河ドラマを「まちおこし」のきっかけとする自治体が増えていますが、京都にもまだまだ掘り起こせる歴史遺産があり、それを活用したまちおこしについて提案がありました。

- ・講演の内容は、会報131号（2018年3月31日発行）に掲載しました。

日 時 2017年11月29日（水） 18：30～20：00

会 場 キャンパスプラザ京都

テーマ 「歴史遺産でまちおこし」

講 師 中村武生（NPO法人京都歴史地理同考会理事長、大谷大学非常勤講師等）

参加者 50人

(4) 「2018年度地方財政セミナー」の開催

- ・次年度の、地方財政の動向について学習する「地方財政セミナー」を、今年度も自治労京都府本部と共催で、下記の通り開催しました。
- ・内容は、会報132号（2018年5月31日発行）に掲載しました。

日 時 2018年2月14日（水）18：30～20：00

会 場 キャンパスプラザ京都

テーマ 「2018年度地方財政の動向」

只友景士（京都自治総研理事、龍谷大学教授）

「指標でみる自治体財政 — 京田辺市を例として」

岡本哲也（京都自治総研専務理事、自治労京都府本部書記長）

参加者数 47人

(5) 府内自治体首長との対談

2017年度は、以下の2自治体の首長と対談形式で情報交換を行い、交流を深めました。

<福知山市長との対談>

日 時 2017年7月20日（水） 13：30～14：30

会 場 福知山市役所

出席者 大橋一夫（福知山市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

- ・対談では、地域を隈無く歩いて課題を把握するミクロの目をもつと同時に、全国的な状況や国の取り組みなどを見渡すマクロの目も重視して、市政運営に取り組んでいることなどをうかがいました。

- ・内容は、会報130号（2017年9月10日発行）に掲載しました。

<八幡市長との対談>

日 時 2018年2月9日（金） 10：00～12：00

会 場 八幡市役所

出席者 堀口文昭（八幡市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

- ・対談では、八幡市の未来への投資は「教育」だと考え、「京都府一の学力をめざす」ことを掲げて教育の充実に力を入れていることや、「第5次総合計画」の策定にあたって、「個人」のみならず「社会」も健康であることが必要と考え、「健幸」や「観幸」に取り組んでいることなどをうかがいました。
- ・内容は、会報131号（2018年3月31日発行）に掲載しました。

<地方自治および地域問題に関する情報提供事業>

(1) 会報「京都フォーラム」の発行

- ・2017年度の会報「京都フォーラム」は、以下の2号を発行しました。

【第130号】（2017年9月10日発行）

<こんにちは「福知山市長」>

「新時代の福知山市を拓く“地域づくり”」

大橋一夫（京都府福知山市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

<2017年総会記念講演>

「“地方創生”ブームの危うさと今後の課題」

真山達志（同志社大学政策学部教授）

<鳴子「さとのわ」視察報告② 鳴子のまちづくりを通して「さとのわ」を支える人々>

「おわりに当たって」

「鳴子の地域コーディネーター／板垣幸寿さん」濱本武志（当時 府本部執行委員）

「森と農業で自然と生きる／遊佐文博さん」黒岩洋子

「鳴子を代表する“漆塗り職人”／小野寺公男さん」小檜山一良（府本部執行委員）

「新しい人の流れを応援する／遊佐久則さん」濱本武志

「自立した地域作りを夫とともに／加賀 道さん」小檜山一良

<コラム①>「石の梅古墳」小檜山一良

<コラム②>「キッチンなの花“鳴子ダムカレー”」小檜山一良

<社会貢献活動に取り組む労働組合 ④>

「地域に根ざした労働組合」

岸本満（自動車総連京都地協・三菱自動車工業労働組合京都支部支部長）

木村幹雄（京都自治総研理事長）

【第131号】（2018年3月31日発行）

<こんにちは「八幡市長」>

「“シビックプライド”の醸成で、豊かな八幡市に」

堀口文昭（京都府八幡市長）

高橋直樹（京都自治総研副理事長・自治労京都府本部執行委員長）

岡本哲也（京都自治総研専務理事・自治労京都府本部書記長）

<特別講演会>

「京都の歴史遺産とまちおこし — NHK大河ドラマゆかりの地に石碑を建てる」

中村武生（NPO 法人京都歴史地理同考会理事長、大谷大学非常勤講師等）

「審議会等委員の住民公募を考える — 京都市の取り組みを材料として」

壬生裕子（京都自治総研研究員、同志社大学政策学部嘱託講師、滋賀大学社会連携研究センター客員研究員）

<社会貢献活動に取り組む労働組合 ⑤>

「ワーク・キャンプ in タイ」

原敏之（情報労連・NTT 労働組合関西総支部副執行委員長、NTT 労組京都分会長）

木村幹雄（京都自治総研理事長）

(2) Facebook の充実

- ・木村幹雄理事長を中心に、Facebook の充実を図りました。